

日本共産党

こんにちはは市会議員
南畑さち代です

No.103
2022.3.20
連絡先
453-7758

2月
当初議会
報告

国保36億円の黒字を保険料の引き下げに!

2022年度当初予算について、反対討論をしました。新年度予算では、国の制度で就学前の子どもの国民健康保険料均等割が4月から半額になることなど賛成出来るものもありますが、問題と思える次の12件について反対討論をしました。



減が予想される中、黒字分を積み上げるのではなく、国保料の引き下げを行うべきです。

〈介護保険事業特別会計〉

特定入所者介護サービス費5463万円が減額されています。これは、昨年8月に非課税世帯の給付額を見直す制度改正に伴い、204人の非課税世帯の入所者が大幅な負担増となりました。月数万円もの自己負担増は、施設の退所を余儀なくさせる危険性もあり、市としても支援を行うべきです。

〈後期高齢者医療特別会計〉

今年10月から年収200万円以上の方の窓口負担は

1割から2割へと増額の予定です。負担増は受診抑制につながり反対です。

〈水道事業会計〉

水道施設基本方針策定業務を委託することについて。

〈工業用水道事業会計〉

多額の大滝ダムに関わる交付金等の負担について。

その他、◇完売しても赤字が残る土地造成事業特別会計(スカイタウンつつじヶ丘)。◇住宅改修資金、住宅新築資金、宅地取得資金の3件の貸し付事業の多額の滞納。◇多額の赤字を抱える駐車場管理事業特別会計。◇公共インフラを独立採算制にしていることの問題がある下水道事業会計。

◇指定管理者へ委託することが含まれている和歌山市都市公園条例の一部を改正する条例の制定。

市民生活を守るため、 組替え動議を提案

2022年度の当初予算案の審議の結果、党・市議団として市長に対し、一般

会計予算の組み替えを行い、再提出を求める動議を提出しました。

理由は、新型コロナウイルス感染症、市の責任による六十谷水管橋崩落による断水など、この一年間、市



提案する森下さち子議員

民の仕事や生活は依然として厳しい状況が続いているとし、8つの事業の見直しと減額及び中止を行い、併せて市民生活を守るため次の4件の充実を求めました。

- ①保健所・衛生研究所の常勤職員の増員、②六十谷水管橋崩落・断水にかかる休業補償、③就学援助金の支給額と支給基準の引き下げ、④生活保護にかかるケースワーカーの国基準への増員です。

結果は党・市議団のみの

賛成6人の少数で否決されましたが、引き続き命と暮らしを守る市政実現に向け皆さんとご一緒に取り組んでまいります。



代表質問

2月28日坂口多美子議員が代表質問をしました。

コロナ対策の充実を!

質問 「ひと月の残業時間が平均98時間という保健所職員の勤務実態」の現状をどのように考えているのか。恒常的な職員の増員が必要だと思いませんか。

答弁 「今後の状況に応じ臨機応変に対応したい」

質問 「医療従事者の疲労は限界を超えている」。医療機関への補助金を打ち切る国に対し、撤回と十分な財政支援を求めるべきではないか。

答弁 「考えていない」
裏面に続く...

表面から...



代表質問をする、さかくち多美子議員

IR(カジノ)誘致は撤回を!

質問「カジノは地方自治体としてなじまず、撤回すべきである。巨大な国際会議場など計画が身の丈に合っていない。投資会社が資金を集めることにも無理がある。改めて危険な計画だと思いが、それでも推進していくのか。」

答弁「裾野の広いIR事業は本市の新たな成長産業で発展に必要なものであり、県と連携して取り組んでいく。」

六十谷水管橋・断水によりポリタンクの運搬で圧迫骨折された方への医療費補償を!
質問「重いポリタンクを運ぶことで圧迫骨折をされた方は、痛みと不自由な生活を強いられ、また、多額の医療費がかかる中、何の補償もない。補償の対象を広げて欲しい」という市民の声を知っているか。この声に応えるべきだと思うかどうか。実態にあった補償や助成に改める考えはあるか。」

答弁「健康被害などの要望は承知しているが、直接損害に合われた方々への対応である旨を説明してきています。企業局としては、できる限りの対応であると考えます。」

「ロシア軍によるウクライナへの軍事的侵略に強く抗議し、恒久平和を求める」

3月9日市議会最終日に、議員発議として全議員賛成のもと決議案が可決されました。

2月24日にロシア軍がウクライナに軍事的侵略を始めてから世界中から抗議の声があがっています。3月

12日、日本共産党河北ブロック後援会がイズミヤ紀伊川辺店前で、「戦争は絶対にダメ!」と街頭宣伝を行い、15人が参加しました。



河北ブロック後援会の宣伝行動

一般質問

森下議員一般質問

新型コロナウイルス感染症対策の観点から質問人数を制限しました。全体の一般質問者人数は、党・市議団の森下佐知子議員のみとなりました。

中学校給食の実施方式は「子どもを中心に考えよ」

質問 中学校給食の実施方式を検討するために行った調査の中間報告に対する受け止めはどうか。市民から寄せられた3220筆の署名を受け止め「子どもたちを最優先に考える」との6

無料生活法律相談

日時：4月8日(金)午後6時~7時
会場：河西診療所です。
申込：南畑さち代まで

無料生活相談

日時：毎週木曜日、午前10時~12時
(電話での相談は常時行っています)
会場：南畑さち代生活相談所
Tel. 073-453-3418、453-7758 (自宅)
和歌山市善明寺411-4
相談実施中は看板を出しています
お問い合わせは、南畑さち代まで
Tel. 073-435-1113 (日本共産党市議団室直通)

2022年2月の法律・生活相談件数
国保:2件、非課税世帯10万円給付:2件、県・給付金:1件、後期高齢者医療保険:1件、生活保護:2件、住居:4件、補聴器:1件、ゴミ問題:1件、市民税:1件

月議会の答弁どおり取り組むべきだと思いがいかがか。
市長 予想より自校調理方式、親子方式による実施可能な学校が少なかったと感じる。多くの市民が子どもたちのために中学校給食に期待して頂いていることは有り難いことであり、頂いた意見については参考にしてまいります。また、先進市の事例を積極的に取り入れるとともに、未来への投資ととらえ、財源を確保し実施してまいります。
*その他、新型コロナウイルス感染症対策についての項目も



防災無線が

聞き取りにくい場合

下記の和歌山市防災情報電話に電話をしてください。

無料：0120-077-199

有料：無料が込み合っている時(固定1分3円、携帯1分40円)

0180-997-199